

# ナラティブ研修

患者さんとの関わりを振り返り、文章にして語ることで看護の本質やおもしろさを感じられる看護師へ。

Hospital data

看護学院情報 52・144ページ

## 東邦大学医療センター大森病院

〒143-8541 東京都大田区大森南6-11-1  
TEL (03) 5763-8502(内)  
担当 / 副看護部長 田村清美  
http://nurse.toho-u.ac.jp/  
問い合わせ：法人本部看護企画課  
e-mail: kanki@nurse.toho-u.ac.jp

「ナラティブ」とは

ナラティブとは「物語、話」と訳され、ナラティブ・アプローチは「物語」として自分を語る、語りをとおした人間の理解の方法」と言われる。

目的

患者さんとの関わりを言葉にすることで自分の看護を振り返り、あらためて看護の本質やおもしろさ、奥深さを感じ、自己の看護観を深める、相手を思いやり、尊重し、誠実な対応のできる看護者を育成する。

メリット

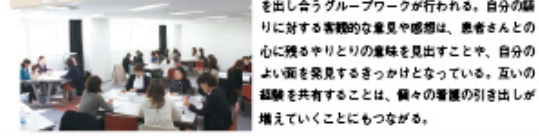
患者さんとの関わりや自分の行った看護を言葉で表現することにより再認識でき、看護について主体的に考えられるようになる。また、他者の語りを共有し、自分の看護に活かせる。

study 01 講演を聴き自分の看護体験をまとめて発表する。



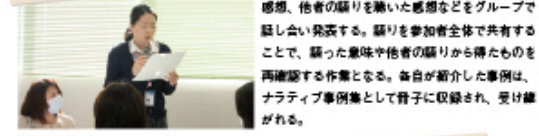
佐藤紀子氏(東京女子医科大学看護学部大学教授)を招いて、「ナラティブとは「語り」の意味」等についての講演を年一回開催。この受講者のうち希望者は、次のステップである「語り」の体験研修に向け、患者さんとの印象に残っている場面を振り返り、物語風の文章にする。そして研修当日、20分の持ち時間の中で語る。

study 02 語り聴いての感想や意見を出し合う。



語り聴いて肯定的なフィードバックや感想などを出し合うグループワークが行われる。自分の語りに対する客観的な意見や感想は、患者さんとの心に残るやりとりの意味を見出すことや、自分のよい面を発見するきっかけとなっている。互いの経験を共有することは、個々の看護の引き出しが増えていくことにもつながる。

study 03 「語り」の体験」研修全体を振り返る。



自分の体験を文章にし、自分が語っての気づきや感想、他者の語り聴いた感想などをグループで話し合い発表する。語りを参加者全体で共有することで、語った意味や他者の語りから得たものを再確認する作業となる。各自が紹介した事例は、ナラティブ事例集として骨子に収録され、受け継がれる。

ナラティブの要素を研修に取り入れ、臨床の知を育てる。

ナラティブという言葉が医療の世界で注目され始める以前から、東邦大学医療センター大森病院では、看護の語りを部長や主任の研修に取り入れてきた。2007年度からは「ナラティブ研修」と題し、「ナラティブ講演会」と「語り」の体験研修を看護部全体向けに毎年開催している。ナラティブアプローチについて理解するだけでなく、心に残る患者さんとの関わりを言葉にすることで自分の看護を振り返り、看護の本質やおもしろさ、奥深さを感じ、看護観を深める。そして看護の経験の積み重ねを「臨床の知」として再確認することを目的としている。

仲間や先輩の語りを共有し新たな目標設定の一助に。

ナラティブ講演会には、毎年100名以上の参加者があり、「語り」の体験研修には、毎年約30名がエントリーしている。研修終了後の参加者のアンケートには、「この仕事をしてよかった」と思えた、などの前向きな感想が多い。これまで見逃されがちだった医療的ケア以外の部分での患者さんとの関わりを、自分の言葉で表現することで看護観が形成され、主体性を持った看護観の育成につながっている。参加者の多くは2年以上の看護歴であるが、今年は部長の参加があり、入職して4～5年目の事例を語っていた。このことは、若い看護師たちが将来像を描くことにも役立っている。

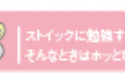
先輩からひとこと

振り返りから気づきが得られ、今後に活かせる

看護に力を貸していただいた患者さんとの関わりについて書いていくうちに、患者さんから学ばせていただいたことの多さに気づきました。また、語りの後に自分では意識していなかったよい関わりを気づかせてもらったことが励みになりました。自分の看護をじっくり振り返る機会はないので、貴重な機会だと思います。



ひと思 MEMO



スティックに勉強するばかりじゃ身がもたない? そんなときはホッとひと息。リラックスして研修を楽しもう!

**看護部主催 ランチョン交流会**

看護職員の声や現場のことや看護部の方針を伝える機会。意見を聞きながら、病院の方針や看護部の考え方、取り組みを紹介する。現場で働いている職員の声を聞き、より良い職場環境にするよううらやまを共有する場となっている。

**FISH! 研修**

「FISH!」前学に学びの研修が行われている。これは、楽しく・生き生きと仕事するために、仲間とどういふ姿勢で仕事に向き合うか、作品作りと対して「仲間意識」「役割の楽しさや大切さ」目標を達成することの喜びを体験することをねらった研修。日々の看護や人間関係に役立っている。

# 癒しの看護の研修

年別にそれぞれのレベルに対応した「癒しの看護研修」を策定。1年目から5年目までの毎年別研修を軸に育成していく。

Hospital data

看護学院情報 52・144ページ

## 済生会松阪総合病院

〒515-8657 三重県松阪市朝日町1-15-5  
TEL (0599) 51-2829(内)  
担当 / 看護部長 辻 要子  
http://www.matsusaka.saiseikai.or.jp/  
e-mail: k-tsuji@matsusaka.saiseikai.or.jp

「癒しの看護」とは

患者さんが心身ともに安らかな状態で療養生活を送ることができるよう看護を提供すること。

目的

相手を思いやり、尊重し、いつも相手に関心をもち、誠実な対応のできる看護者を育成すること。

メリット

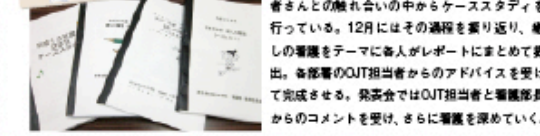
癒しを追求し、自らの内面をも振り返ることができ、自律性が育つ。さらに集団研修で同期との話し合いも持てることからモチベーションが生まれ、業務向上につながっている。

study 01 リラックスしながら「癒しの看護」の基礎を学ぶ。



1年目の全員が参加する野外研修が、毎年6月に行われている。2日間は看護職だけのコミュニケーション研修を開催。伝えることについて楽しみながら学び、グループに分かれ癒しの看護について発表をする。その後10か月間に各自の看護を振り返ってレポートを提出。成長度合いが分かるようになっている。

study 02 OJTでケーススタディをまとめて発表する。



2年目には、「癒しの看護の研修」を実施。日々の患者さんとの触れ合いの中からケーススタディを行っている。12月にはその過程を振り返り、癒しの看護をテーマに各人がレポートにまとめて発表。各部署のOJT担当者からのアドバイスを受けて完成させる。発表会ではOJT担当者や看護部長からのコメントを受け、さらに看護を深めていく。

「癒しの看護」を理念に掲げ患者さんの安楽を追求。

平成8年から「癒しの看護」を看護理念に掲げる。済生会松阪総合病院看護部。平成14年に三重県の事業として実施された「継続教育体制整備事業」を受け、「癒しの看護」を実践できる看護師育成プログラムに再構築した。まず、1～5年目までの経年別に看護師像(癒しの看護の役割)を策定し、能力レベル表を作成。目指す看護師像に近づけるようさまざまな研修を組んでいる。評価は、技術・知識だけでなく、各自にとっての「癒しの看護」を考えるプロセスを大切に、落ちこぼれをつくらぬことを目指している。

OJTを重点的に行うことで病棟全体がレベルアップ。

プログラムは、途切れることなく一貫した教育ができるよう配慮。1～5年目まで、コミュニケーション研修、ケーススタディ、リーダーシップ研修、クリティカルケア研修、看護観のレポートという流れになっている。集合研修後のOJTも重視しており、OJT担当看護師やメンタル面を支えるサポートナースたちが、個々に合った指導と評価を行う。集合研修での同期との触れ合いに加え、病棟での良好な関係性により磨きも通っている。また、「癒しの看護とは?」と振り返ることが自律性を育てることにつながっている。

先輩からひとこと

根本的な研修でモチベーションを維持

働きはじめると、技術や知識に重きが集中してしまいがちですが「癒しの看護」という根本的な部分を考える場があることで、仕事へのモチベーションを保つことができました。「癒し」について考えるのは難しいですが、研修のたびに初心に帰ることができ、やっぱり看護が好きなのだと思い直しています。



ひと思 MEMO



スティックに勉強するばかりじゃ身がもたない? そんなときはホッとひと息。リラックスして研修を楽しもう!

**おゆみの会**

1・3・6ヵ月と定期的に新人の交流会が開かれる。直属の上司がいない空間で、お茶やお菓子をいただきながら、近況報告や日頃の仕事の悩みを話し合える。ついお菓子を食べて過ぎてしまったり、ストレス発散と話し合えるいい機会と好評。

**リフレッシュ研修**

病院内スタッフが、誰でも参加できるリフレッシュ研修。3年前から取り入れたサークル研修は、予想に反して男性看護師や医師も参加する人気講座となっている。気持ちよく休んでほしいという声も聞かれるが、それは「理想中!」ということになっているのだとか。